

令和元年 6 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第一部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

2019年5月次 月次概況（速報）のお知らせ

2019年5月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	2019年3月期											
	2018年									2019年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	536	519	478	439	670	606	476	435	547	460	360	698
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	91,552	116,599	101,591	92,238	107,310	84,706	118,371	96,598	91,536	133,017	75,614	77,410
外国為替取引口座数 (単位：口座)	315,872	317,341	318,698	319,983	321,275	322,271	323,931	325,232	326,421	327,859	329,061	330,230
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	62,379	61,817	63,050	63,736	62,506	62,707	62,428	62,361	63,000	62,097	61,685	62,557
一般顧客	57,653	57,015	57,840	58,372	57,290	57,094	57,455	57,530	57,897	57,128	56,678	57,205
金融法人 (B to B)	4,725	4,802	5,209	5,363	5,216	5,613	4,973	4,831	5,103	4,968	5,006	5,351
マネパカード口座数 (単位：口座)	124,965	129,820	134,553	137,762	139,807	141,535	143,219	144,889	146,856	148,845	150,323	151,621

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位：百万円)	436	430										
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	64,962	85,708										
外国為替取引口座数 (単位：口座)	331,528	332,653										
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	64,226	63,060										
一般顧客	57,695	58,098										
金融法人 (B to B)	6,531	4,961										
マネパカード口座数 (単位：口座)	152,808	153,899										

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものと B to B 取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。

< 5月次の概況 >

5月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝111円台前半で取引が始まり、日本の10連休に伴う薄商いの中、年始に発生したような相場の急激な変動への警戒感のもと値動きに乏しい推移となりましたが、5日にトランプ米大統領が中国への関税引き上げの意向を発信すると一気にドル売円買の流れとなりました。その後も、これまでの米中貿易問題進展への期待感が一転しドル売円買の流れは変わらず、13日には中国が報復措置を発表したことを受け一時109円丁度の水準をつけました。その後、トランプ米大統領が自動車関税の引き上げ判断を最大6か月延期するとの発表等を受け110円台半ばまで値を戻しましたが、米中貿易問題に対する悲観的な見方が広がると再び値を下げ、31日には米政権のメキシコに追加関税を課す旨の発表や中国が大規模な報復措置を示唆すると大きく値を下げ、108円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、米中貿易問題を背景とするリスクオフの円買いの影響を受け対円で値を下げましたが、特に英ポンドは英国のEU離脱問題への不透明感の高まり等を背景に大きく値を下げました。外国為替相場の変動率は、ユーロは前月から更に低迷したものの、米ドルや英ポンド等の値動きが回復し、全体として極めて低い水準であった前月から若干回復しました。

このような状況の中、外国為替取引高は、米ドル／円を中心に増加し、前月比32%増加の857億通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に収益性の低い米ドル／円の割合が高まったこと等から全体としての収益性が低下し前月比1%減少の430百万円となりました。また、顧客基盤については、外国為替取引口座数は前月比1,125口座増加の332,653口座、マネバカード口座数は前月比1,091口座増加の153,899口座と10連休の影響等もあり増加ペースが低下した一方、外国為替取引預り証拠金は、海外金融法人からの証拠金が前月からの反動減となったこと等から、前月比1,166百万円減少の63,060百万円となりました。

以 上